

丹沢：モロクボ沢（沢のぼり）

- ◆日程 2019年8月3日（土）
- ◆メンバー L：前田、大山、大塚
- ◆天候 晴

ようやく梅雨が明けた。ここまで夏合宿を前になかなか山行が出来ず、痺れが切れそうだった。とは言えこの猛暑、近場で涼をとれるうれしい企画だ。

バスで西丹沢自然教室に着くと、登山客は春や秋と比べると少なめ。むしろ近隣のキャンプ場は賑わっており、朝から子供たちが沢遊びをしている。水は冷たくないのか？白石沢とモロクボ沢の合流点付近のキャンプ場跡地でゆっくり準備をして入渓。緩やかで広々した沢筋だ。白っぽい花崗岩が多いためか明るく感じる。水も梅雨時ほどには冷たくない。前田リーダーは早速ズボズボと腰まで浸かっている。沢は水量が多い代わりに傾斜が緩いため、よじ登る場所はあまりなく、むしろ水遊び感覚だ。



本日のハイライトである大滝に到着すると、僕らより一足先に入渓した2名のパーティーが左壁を高巻きしているのが見えた。僕らはまず、空身で滝に近づいて偵察だ。前田さんは早速釜にダイブ。私も近づいてみるが上半身が冷たく躊躇したが、せっかくなので浸かってみる。釜はかなりの段差で、足が届かない。水から上がってみると、さっきまでの暑さが吹き飛んでいて心地よい。さて、いよいよ高巻きだ。本日唯一のクライミングだが、手足を掛ける場所はあるため、難しくはない。途中、もう一組のパーティーと遭遇。一人はなんとリーダーのご近

所さん！偶然にしては出来過ぎだ。

その後、沢床にところどころある花崗岩が風化して出来た真砂土に足を取られながら小さな滝や滑滝を進む。途中、水流の豊富な支流があちこちに出現するが、皆で位置確認をしながら進み、目標としていた山頂手前の稜線直下の地点に無事到着。

ここからは稜線まで足場の悪い登りだ。沢から離れた途端暑くなったが、何とか山頂に到着。ただでさえ空いているうえに昼過ぎなので誰もいない。悠々と武装解除して、下山開始。目標の16時ぴったりにゴール。

自然教室付近にはビールの自販機がなかったため、新松田駅付近で改めて乾杯した。

振り返れば、本日のコースは初心者でも必ず楽しめる、真夏にお勧めのコースだった。そしてやはり西丹沢は良い。空いているし、何しろ蛭がない。 (記：大塚)

- CT：西丹沢自然教室 8:50 - キャンプ場跡地（用木沢出合付近） 9:30/10:00
- モロクボ沢 10:15 - 大滝（30 m） 10:30 - 水晶沢分岐 11:30/11:50
- 詰上開始点 13:20 - 一般登山道 13:45 - 畦ヶ丸山頂 13:55/14:25
- 西丹沢自然教室 16:00